

豊田景気実感調査

Viewing over Our Toyota's Economic Condition



第21号

発行日 2021.12.13

令和3年11月調査結果

“豊田の景況感、全国比慎重な見方も持ち直しが続く”

	現状判断D I				先行き判断D I				水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	53.1	49.4	56.9	52.0	53.9	58.3	58.3	55.8	35.1	38.9	43.1	37.1
全国	56.5	54.5	59.0	56.3	54.1	49.8	56.6	53.4	47.2	47.7	51.7	47.2
東海	57.0	—	—	58.3	53.1	—	—	53.4	46.5	—	—	48.7

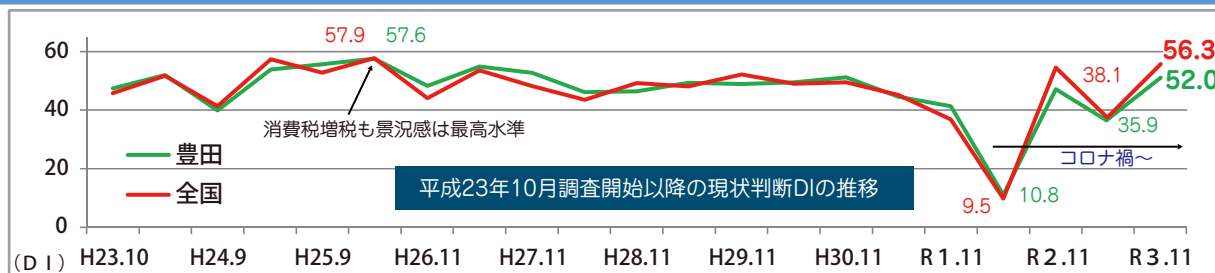
※全国、東海は内閣府11月調査 【天気図の見方】 D I 値 大きな晴れ：60点以上 / 晴れ：50～60点未満 / 曇：40～50点未満 / 雨：40点未満

令和3年11月 調査結果総括

現状の景況感は、コロナ禍の影響により昨年5月に底を打った後、感染状況の落ち着きとともに持ち直しの傾向にあります。自動車産業が盛んな当地域では、半導体不足や燃料費高騰による企業活動へのマイナス影響が全国比、色濃く確認されています。先行きについては、自動車関連で今後挽回生産が期待されること、家族単位での来客が増加しているといった声に代表される形で、全国比で見ても明るい見方となっていますが、コロナ禍6波を心配する声も多く、不透明感には払拭出来ていません。コロナ禍以降、豊田の景況感と感染状況は相関関係にあり、オミクロン株の動向には引き続き注視していく必要があります。

令和3年11月 特別調査結果

- ① 所得見通し・お小遣い等は、コロナ禍前の水準には戻っていないものの、悪化傾向からは脱却している様子が確認されています。
- ② 「消費行動」におけるコロナ禍の影響については、前回調査時より消費行動を抑制している割合が18.7%減少し、平時と変わらないとの回答が13.2%増加していることから、徐々にではありますが、コロナ禍前の水準を取り戻しつつあることが確認されています。
- ③ ワクチン2回接種済のモニターが9割を超え、3回目を希望される方も7割を超えています。ワクチンに関する適切な情報提供が行われていくことを期待するとの声が多く寄せられています。
- ④ コロナ禍での「旅行」の際は、緊急事態宣言の有無、感染者数の状況が大きな判断材料となることが確認されています。
- ⑤ 「コロナ禍において期待する施策」については、消費税等の減税や公平な支援を期待する声が多く寄せられています。



1. 調査期間：令和3年11月4日～30日

2. 調査客体：297名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：244名 / 有効回答率：82.1%

3. 調査項目：
 ・2～3ヶ月前に比べ現在の景気はどう変化したと感じますか？ ⇒ 現状判断D I
 ・2～3ヶ月前の景気は現状に比べどう変化すると予想しますか？ ⇒ 先行き判断D I
 ・現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断D I

4. D I 算出方法：

評価段階	5	4	3	2	1
評価					
現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数	1	0.75	0.5	0.25	0

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%比）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがD I 値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月／11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から構成しています。なお、本調査では別に「特別調査」を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

<問い合わせ先>
 豊田商工会議所：小池
 0565-32-4594
 豊田信用金庫：高橋
 0565-36-1384

現状判断

総括

総合DI（豊田） 良化



●前回比

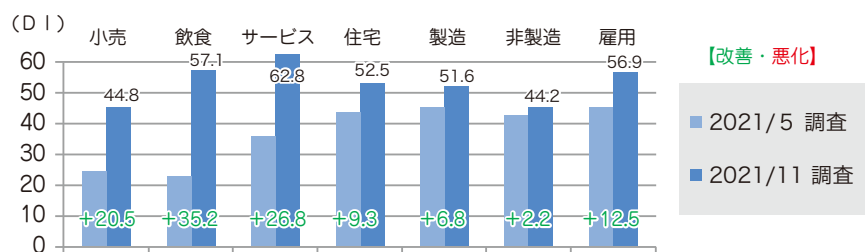
- ・総合：良化（雨→晴）
- ・家計：良化（雨→晴）
- ・企業：不変（曇→曇）
- ・雇用：良化（曇→晴）

●全国比

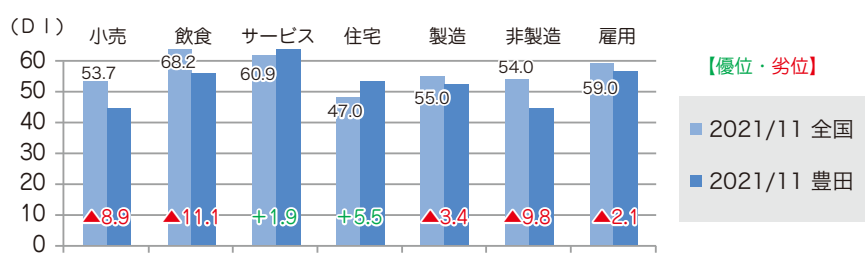
- ・総合：不変（劣位→劣位）
- ・家計：不変（劣位→劣位）
- ・企業：不変（劣位→劣位）
- ・雇用：不変（劣位→劣位）

業種別内訳

人流増加がプラスに寄与する業種での景況感改善が顕著です。

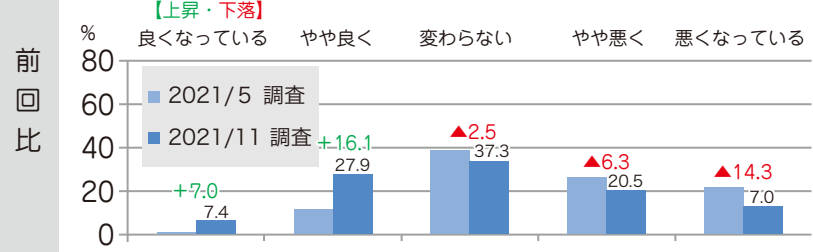


飲食の全国比劣位が目立つ。全体的に全国比劣位の状況です。

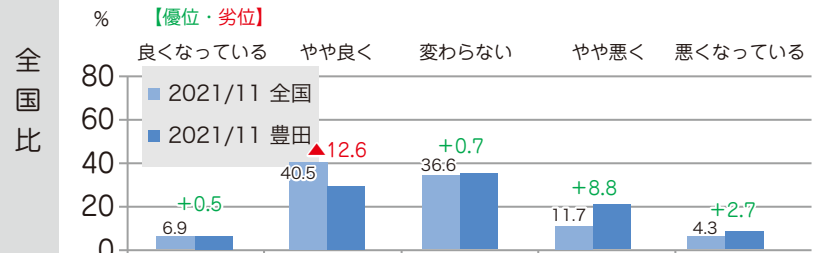


評価段階別内訳

“良化”傾向の回答へと大きくシフトしている。



“やや良くなっている”が際立って全国比少ない。



景気モニター生の声

< +：回復感あり -：回復感なし >

※家計動向＝家、企業動向＝企、雇用関連＝雇、と略

- +：来店客数がコロナ以降減っていたが、ここ2か月間でプラスに変わった。（家：コンビニ店長）
- +：イベントやスポーツ関連の宿泊者が増えてきた。とよた宿割やeマネーキャンペーンの効果だと思います。（家：観光型ホテル経営者）
- +：豊田市内のタクシー稼働車両はコロナで40%減。規制解除で人が動きだして、稼働車両が不足してきた。すぐに運転手が確保できず、タクシーが足らなくなってきている。（家：タクシー運転手）
- +：自動車大手の組立てラインが再開し始めた影響で、部品の注文が増加した。（企：輸送用機械機具従業員）
- +：新聞求人雑誌の募集数増加が見られる。（雇：学校就業担当者）
- ：松坂屋閉店後の来店客、歩行者通行量の動向から景況感悪くなっている。（家：その他小売経営者）
- ：コロナ時短になれてしまい、人の往来がない。（家：飲食店経営者）
- ：求職者の方の年齢層が高齢の方々が多く感じられるようになりました。厳しい状況が続いているのかと受け取りました。（企：一般機械器具従業員）

先行き判断

総合DI（豊田） 良化



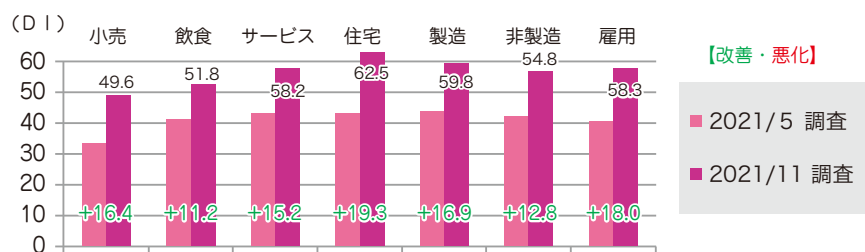
●前回比

- ・総合：良化（曇→晴）
- ・家計：良化（雨→晴）
- ・企業：良化（曇→晴）
- ・雇用：良化（曇→晴）

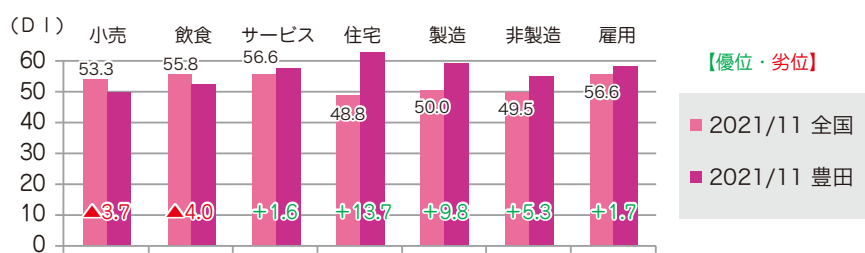
●全国比

- ・総合：良化（劣位→優位）
- ・家計：不変（劣位→劣位）
- ・企業：良化（劣位→優位）
- ・雇用：良化（劣位→優位）

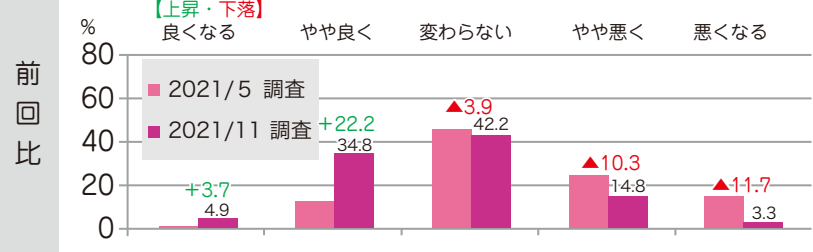
全ての業種で大きく改善。部品不足解消見込みも製造業では一因。



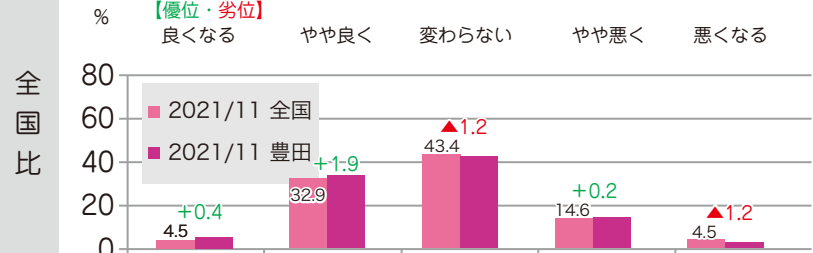
小売・飲食は劣位も企業関連の先行き見通しは全国比明るい。



“良化”傾向の回答へと大きくシフトしている。



全国比で、大きな回答の偏りは見られない。



< +：回復感あり -：回復感なし >

※家計動向＝家、企業動向＝企、雇用関連＝雇、と略

- +：来店客数が増えており、1組ごとの人数も多い。家族連れ、友達同士など。（家：一般小売経営者）
- +：忘年会、友人との食事、旅行の予約をしたという方が、増えてきた。（家：旅行代理店従業員）
- +：コロナ禍の第6波が無いことが、よくなる前提で祈る。（家：ゴルフ場従業員）
- +：徐々に感染対策のできている環境が増え、利用側もお店側もwithコロナに対応してきていると感じる。（家：サービス業経営者）
- +：部品調達の回復により生産量の回復が見込まれる。（企：金属製品製造経営者）
- +：ようやくコロナ前に戻りつつあると感じるため、中止していたイベントが徐々に再開したりしている。（企：輸送用機械機具従業員）
- ：原油価格の高騰が収まらないので、色々な面でコストが上がることの懸念などがある。（雇：職業安定所所員）
- ：コロナの状況も未だ不安定で、特に景気の良い要素がない。（家：その他小売経営者）

水準判断

総合DI（豊田） やや良化



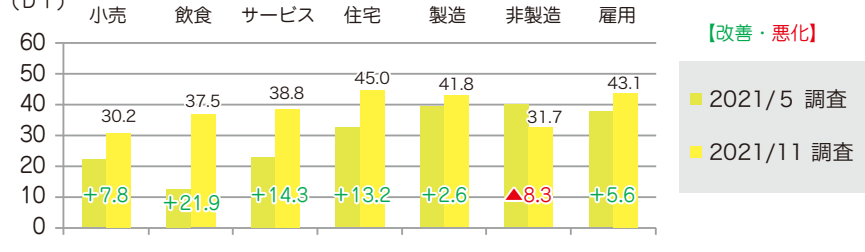
●前回比

- ・総合：不変（雨→雨）
- ・家計：不変（雨→雨）
- ・企業：不変（雨→雨）
- ・雇用：良化（雨→曇）

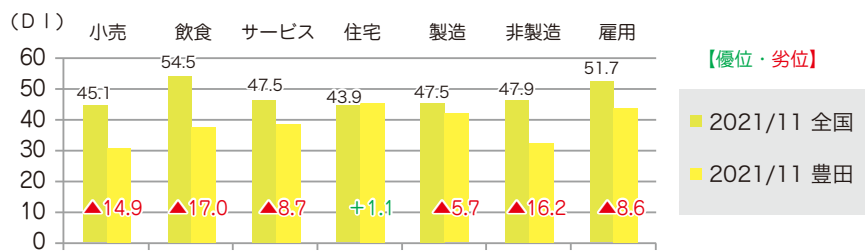
●全国比

- ・総合：悪化（優位→劣位）
- ・家計：不変（劣位→劣位）
- ・企業：悪化（優位→劣位）
- ・雇用：悪化（優位→劣位）

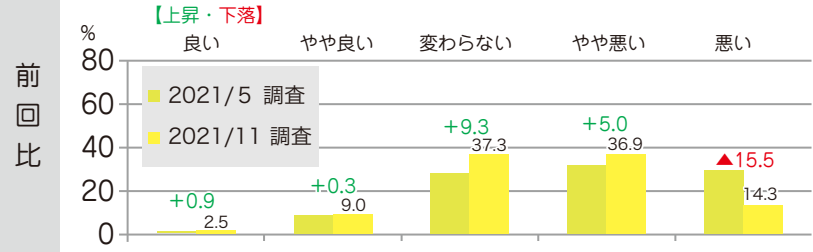
原材料価格、燃料費の高騰等で非製造業のみ足元の景況感が悪化。



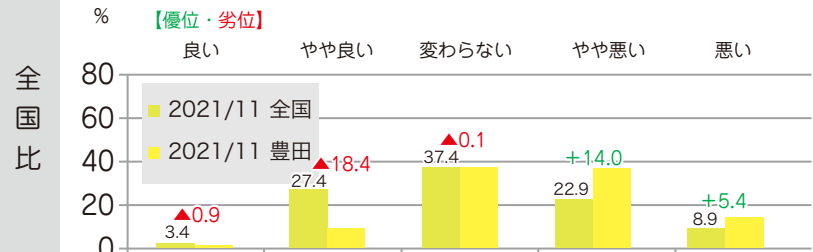
住宅を除き、足元の景況感は全国比大きく劣位の状況。



「悪い」のみ大幅に減少し、良化傾向へとシフトしている。



全国比、足元の景況感は悪い方向の回答が多い。



自由回答：景気モニターからの貴重な声

- ・豊田市独自の施策も、効果が出てきており、周辺の自治体よりも恵まれているとは感じております。なんとか荒波の中、乗り切っていければと考えております。
- ・実質賃金の低下で自由に使うお金がない。消費税の減税、給付金、消費力アップが必要である。
- ・コロナが思ったより早くコントロールでき、早く通常に戻ったとしても今迄とは違うアプローチをしなければ従来の利益確保は困難と思われる。何処に行けば、誰に聞けば、何を考えれば良いのかが判らない。
- ・豊田市独自の飲食券を発行していましたが、スーパーなどでも使える商品券も販売してほしい。
- ・原油価格の高騰や、各種輸入品の品薄状況による商品価格の値上がり心配。コロナ融資の返済は出来るだけ先延ばしまたは猶予をお願いしたい。豊田市内の企業で大きな設備投資があれば、宿泊も増えてくると思います。また大規模イベント（コンサートや日本代表のサッカーやラグビーの試合）の誘致を希望。
- ・バラマキは止め、必要な所に必要なお金を。

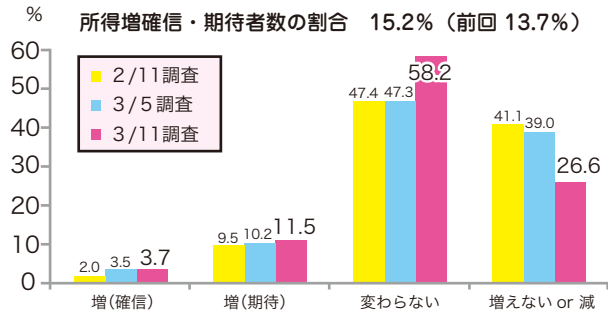
～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

【特別調査】

所得見通し※ 消費意欲の調査

※平成24年から調査を継続しています。

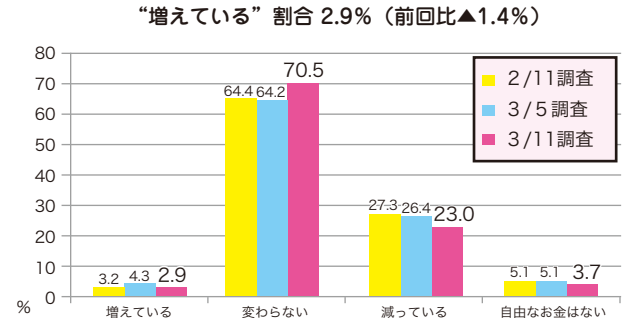
今後、所得は増えていくと思いますか？



所得増への期待感は、コロナ鎮静化とともに僅かながらも増加の様相

「増えないあるいは減る」とのネガティブ回答が減少し「変わらない」へシフトしました。但し、所得増の確信回答は伸び悩んでおり、依然コロナ禍に受けた所得へのマイナス影響が残存している様子も窺えます。

自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

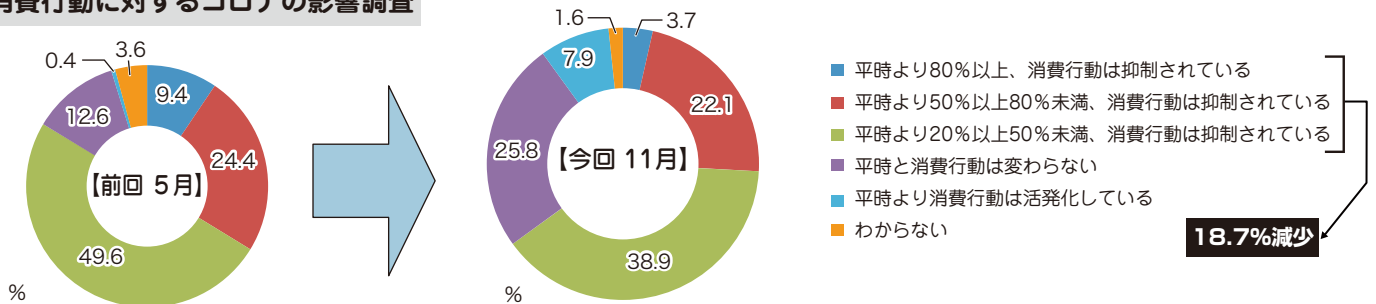


「お小遣い」に対するコロナ禍の影響は沈静化の傾向

「減っている」との回答が減少した一方、「変わらない」との回答が増加しました。依然「増えている」との回答は低位推移しており消費意欲停滞が引き続き懸念される状況にある結果となりました。

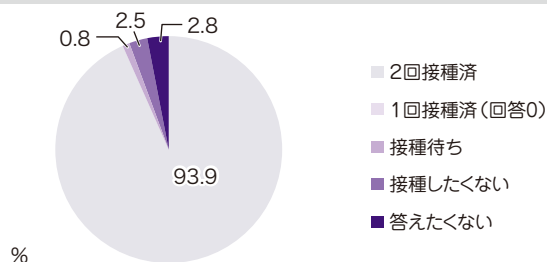
新型コロナウイルス感染症の「消費行動」への影響調査 等

消費行動に対するコロナの影響調査

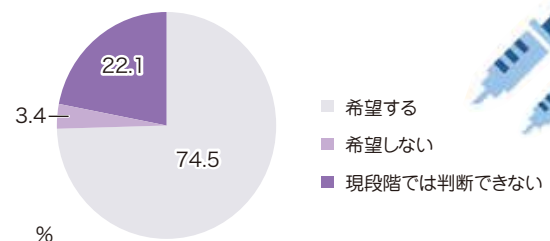


前回5月調査時には実に83.4%の方が消費行動を抑制されているとの回答でしたが、今回はコロナ禍の落ち着きを主な理由に64.7%となりました。平時と消費行動は変わらないとの回答が13.2%増加していることから、徐々にではありますが消費行動はコロナ禍前に戻りつつあると推察できます。但し、小売関連のDIは景況感横這いを示す50を下回っており、本格的な消費回復には到底至っていないことは明らかです。

コロナウイルスのワクチンの接種状況

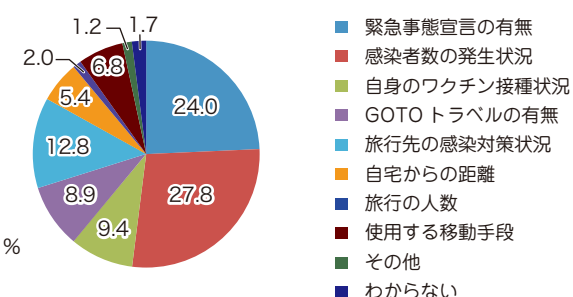


3回目の接種はどうされますか？



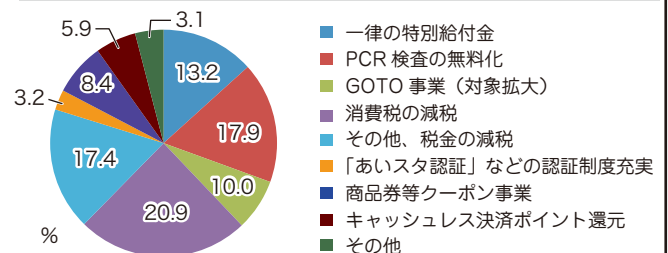
9割以上の方が2回の接種を終えていることがわかりました。3回目についても7割以上の方が接種を希望しており、ワクチン接種の効果への期待感が高いことが窺えます。ワクチン接種が進んでいることが景況感改善の一因であるとの声も景気モニターから寄せられており、オミクロン株への懸念もある中において、ワクチンに関する適切な情報提供が国から実施されていくことが今後、求められます。

旅行の際の判断基準「WITH コロナ」調査



コロナが落ち着いている状況にあって、やはり緊急事態宣言の有無と感染者数の発生状況が「旅行」を計画する上でのKEYであることがわかりました。第6波が来ないことを祈ります。

コロナ禍にあって行政に期待する施策は？



その他、以下のご意見が寄せられましたので紹介します。

- ・医療崩壊対策、法人税や固定資産税等の減税が必要。
- ・海外との往来における水際対策を一層徹底してほしい。
- ・新型コロナウイルス感染症の3回目のワクチン接種希望者に対する円滑且つ迅速な対応を求めます。